② は選択科目です。

2 は必修科目、

※表中の数字は単位数を表し、

| 2 年     3 年     4 年       前学期     後学期     前学期     後学期 | 特別支援教育の理解と方法①  |  | 「「「「「「「」」」   | 1  | 音楽     ①     理科     ①     家庭     ②       国語     ②     野女化     ②     日語文化     ②       社会     ②     生活     ②     乙どもと表現(音楽)     ②     こどもと表現(音楽)     ②     こともと表現(音楽)     ②  |  | <td c<="" color="1" rowspan="2" th=""><th></th><th></th></td>   | <th></th> <th></th>  |   |  |
|---|--|--|--|--|--|--|---|--|---|--|
| 1 年<br>前学期 後学期  |  |  |  | 保育內容総論①  | -   スポーツ実技 ①   |  | 「自然探索・野外活動 ②         (養師の対人コミュニケーション能力②)         (学校インターンシップ I ①)         フィールドスタディーI ②   |  |   |  |
| こども教育学科 ②専門教育科目 専門教育科目 履修体系図<br>各科目群の学習目標・到達目標        | ■教育の基礎理論について理解する<br>教育の意識・子どの発達、現代の教師や国の教育政際等に関する基礎的な理論について理解します。<br>・教育の基本的概念は何か、教育の歴史や思想について学ぶとともに、教育及び学校の営みの変遷を理解します。<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ■保育の本質・目的について理解する<br>係育や社会福祉の意義、係育の基本、保育の内容・万法、保育士の役割等に関する基本的公知識を理解します。<br>本会福祉の意義、制度や実施体系および現状と課題、社会福祉における相談援助、利用者の保護に関わる仕組みについて理解<br>します。<br>保育者の役割に信運、通路、低海・に中上の制度的位置・20、7年期代に対する<br>・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子母の経について理解します。<br>・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子母の経でが開発して、工程制にすす。<br>・子と表庭の様とのこれで、実態に応じた子とものから多な様や学校を指することの意義について理解します。<br>・子と表露福祉の意義・歴史的変遷、制度や実施体系、現状と課題、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解します。 | ■保育の対象について理解する<br>子ともの心身の健康問題、子どもの発達、健康などい、食育、食生活に関する基礎的な知識を理解します。<br>・子ともの心身体的な発育・発達と保健、健康状態とその把握の方法について理解します。<br>・保育における保健的観点を確認すえ代保育環境や提助、衛生管理・事故防止・安全対策・危機管理、災害対策について理解します。<br>・食主活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、子ともの発育・栄養と食生活の関連について理解します。<br>・子育で家庭に対する支援の意義・目的、支援の体制について理解します。<br>・子育で家庭に対する支援の意義・目的、支援の体制について理解します。<br>・障害児およびその保育について理解するとともに、個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解します。 | ■教育課程及び指導法について理解する ・教育の窓・教育課程の協成や子どもを指導する具体的な方法について理解します。 ・保育の窓・教育課程の編成や子どもを指導する具体的な方法について理解します。 ・保育のS領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)における内容を、幼稚園や保育所での具体的な指導場面を想定して ・保育を制能する方法を対してります。 ・小学校会教科における教育目標・育成を目指す資質・能力を理解し、様々な学習指導理論を確まえて具体的な授業場面を ・小学校会教科における教育目標、表しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ■教科の内容について理解する ・均権國教育要領」の職局を理解するとともに、保育内容 ・均権國教育要領」の職局を理解するとともに、保育内容 ・均権國教育要領」の職員を選出して、保資内容 ・ の領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の理解を深め、各領域の指導の基盤となる専門的知識及び技能を身に付け ・ 保育内容の視点及り領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、子どもの発達の ・ 小学校の教育課程で取り扱われる各教科について、それぞれが持つ特性と内容の理解を深めるとともに、各教科の特異性 ・ 小学校会教科について、全が表出が守されて会社の代表 ・ 小学校会教科について、全社会がお指導ができる力を身に付けます。 ・ 小学校会教科について、学習指導要領の職員を理解するともに、教科等の目標と内容及びその果たすべき役割について ・ 理解を深め、各教科に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。 | ■生徒指導、教育相談及び進路指導について理解する<br>幼児・児童・生徒理解に関する基礎的な知識や方法を学ぶとともに、発達段階に応じた生徒指導や教育相談等のあり方や指<br>導方法を身につけます。<br>・幼児の発達や学びおよびその過程で生じるつまづき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。<br>・別係機関と選携しなおら生徒指導を組織的に進めていくために必要な知識・技術や素養を身につけます。<br>・幼児・児童の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カ<br>ウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身につけます。 | ■教育の理論を実践に応用することに関して理解する。<br>等級権物の理論を力しいと提案を通して学んだ理論を教育場場であ用できる実践的指導力を身につります。<br>また、教育現場での各種実習を通して、教職に必要となる基礎的な知識・技能を確認するとされ、教育場の課題や教育<br>全としての自己の能力や適応について問題点や改善人な事者である基礎的な知識・技能を確認するとともに、教育現場の課題や教育<br>・学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育表践ならびに教育をといての実践的な能力を身につります。<br>・学校教育の実際を体験的、総合的に理解し、教育表践ならびに教育をといての実践的な能力と態度を分につけます。<br>にます。<br>します。<br>・オーセとのふれ合いを通して子どもの理解を深めるとともに、保育所、児童福祉施設等の役割や機能について理解<br>・子ともとのふれ合いを通して子どもの実態を知り、また日常的な教師の指導の様子や仕事の様子を観察し、質の高い実践<br>・子をものふれ合いを通して子ともの実態を知り、また日常的な教師の指導の様子や仕事の様子を観察し、質の高い実践<br>・支援を必要とする児童に対する。適切な指導および支援を、どのように行えばよいのかを、体験を通して学びます。<br>・技術支援学校、及び福祉施設で、障害を持った人や認知症高齢者などの支援を体験することにより、それらの人々の支援<br>方法を学び、人権感覚を磨きます。 | ■海外の教育文化について理解する<br>海外研修先の教育・歴史、社会、環境について調査し、その教育について理解を深めるとともに、英語指導に秀でた教員を<br>養成するという教育目的を達成する一環として、英語力を身につけます。 | ■自ら課題を発見し、課題を解決する能力を修得する<br>グループ討議・事例研究、現地調査などの実践的な授業方法により、専門科目の各分野で学んだ知識と技能を基に、総合的<br>た成品能力を修するとときに、実務を行うための実践的手法を身につけます。<br>・学修のテーマを決定し、実務となったの実践の上の計議を行い、プレゼンテーション能力を向上させます。<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |  |

教育学部 履修の手引

28

29